

## 令和6年度事業報告

今年度においても能登半島地震の影響は町内外でも見受けられ、町のいたるところで公費解体が進み、空地も増加してきました。会員やお客さんでも他町へ避難したままの方達もあり、仕事の受注回復にはもうしばらく時間がかかりそうです。

イベントについても、毎年恒例だったグランドゴルフ大会は1回のみ、新鮮野菜市に関しては開催の目途が立ちませんでした。11月に「がんばろう！うちなだ！」の合言葉の下、チャリティーバザーを開催しました。会員のみならず、企業様・町民の方々にもご協力いただき、10万円を超える収益金を内灘町にお届けすることができました。

また、昨年度のインボイス制度の導入、今年度のフリーランス法の施行等、国の法令や規則がその都度変化するため、それに伴うシステム変更などを行いました。

このような状況下、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員が健康で「やりがい・生きがい」を実感し、社会に貢献できるセンターを目指せるよう以下の事業を行いました。

### 1 組織運営体制強化

地震の影響により、イベントの自粛など先は見通せませんが、会員増強が課題となっております。

#### (1) 会員増強

- ・町広報誌を活用した新規会員の獲得を目指した。
- ・ハローワーク金沢及び津幡での高齢者向け説明会を継続しました。
- ・講習会と連携した会員入会の促進を行いました。
- ・魅力のあるチラシ作りに励みました。

#### (2) 事務局体制強化

- ・役員・会員で構成された専門委員会による事業運営の取り組みを行いました。
- ・県内外のシルバー人材センターにおける運営状況をリサーチし、フィードバックできるか検討しました。
- ・事務作業の効率化を行いました。

#### (3) 会員による自主運営確立推進

- ・研修費を活用し、資質・技量のある会員養成を行いました。
- ・技術技能分野の後継者育成を行いました。
- ・専門委員会による事業企画を行いました。

## 2 就業機会の開拓

自主財源確保対策の最重要課題として、受注活動の拡大に努めました。

- ・ ホームページ及びスマホの活用による周知を行いました。
- ・ 石川県シルバー人材センター連合会と連携した技能講習会参加を行いました。
- ・ デジタル推進委員によるスマホ教室を開催し、デジタル化を推進しました。
- ・ 内灘町及び内灘町社会福祉協議会、地域包括支援センターとの連携を行いました。
- ・ 内灘町と連携した「空き家管理業務」の周知及びふるさと納税返礼における「お墓清掃代行サービス業務」の周知を行いました。

## 3 安全・適正就業に関する意識・知識の向上

会員各自が、「自分の命は自分で守る」という安全に対する認識を定着させ、事故0件センターを目標としました。

- ・ 各作業班による朝礼・終礼の徹底を行いました。
- ・ 安全・適正就業委員会を中心とした現場パトロールの強化を行いました。
- ・ ヘルメット、カラーコーン、安全ベストなど保安用具使用の徹底を行いました。
- ・ 「いきいき通信」を活用した安全就業の啓発・情報発信を行いました。
- ・ 「安全ワッペン」の普及徹底を行いました。
- ・ 「適正就業ガイドライン」の遵守を行いました。

## 4 普及啓発活動

センターのPRと会員の一体感醸成を兼ね、ボランティア活動に取り組みました。

- ・ 普及啓発月間中における除草ボランティア他PR活動を行いました。
- ・ ポイントシステムと連携した一会員一就業先開拓運動の継続実施を行いました。
- ・ シルバーの活動内容をお知らせする「わくわく情報局」の発行を行いました。

## 5 その他

- ・ 内灘町シルバー人材センターの特色を生かした新規事業の模索をしました。
- ・ 家事福祉援助サービスの拡大を模索しました。
- ・ 派遣事業の拡大を模索しました。
- ・ 20周年記念事業に向けての検討を行いました。